

1年1組 ころこに まいたたねがそだったよ！

きらきらぴかぴか みつざわっこ

後期は、夏に咲いた花の様子を伝え合うことを通して自分たちが心にどんな種を蒔いて育てているかを考えました。また、運動会練習の暑い盛りから風を涼しく感じるようになったことから木々や生きものの様子などの自然の変化に気付きました。紅葉した葉、ドングリなどを集めて独楽をつくったり貼り絵をしたりして「秋のお宝で遊ぼう」という学習につながりました。一人ひとりが自分の思いをもって遊びを始め、友達と共に遊びをつくり、互いの遊びを楽しみました。

毎年、幼稚園・保育園と行っている交流会「わくわくなかよしかい」では、その遊びを園児と一緒に楽しみ、係活動を活かした交流で学校生活の楽しさを伝えました。3回目の交流会では、もっと学校生活の楽しさを伝えたいという思いをもっています。

1年2組

見つけたよ みんなのえがお

入学して9か月。22か所の幼稚園（保育園）から集まってきた子どもたち。未知の場所で新しい友達と世界の広がりを感じ、多くのことを体験してきました。

本クラスの学級目標は「やさしいきもち」「ちからをあわせる」「ルールをまもる」です。これを目標にすることで『笑顔でいられる。楽しいクラスになる。このクラスでよかったと思える。』という解釈が出されました。笑顔で過ごした9か月。今度は、家族の笑顔を考えました。まず、どんなときに笑顔になるかを観察して実行します。冬休みは、クリスマス、お正月などで親戚との集まりもあり、普段と違う生活になります。どんな、笑顔を発見してきてでしょうか。子どもたちの話を聞くのが楽しみです。

1年3組

チューリップをそだてよう

夏に咲いた花が枯れたので、「どうしたい？」と問いかけました。すると、「おうちでチューリップを植えたよ！」「僕も！」「私も！」と声上がり、「(交流している)年長さんで、三ツ沢小学校に入学する子がいるって、保育園の先生が言っていたよ。私たちが入学した時も、チューリップが咲いていたよ。来年の1年生のプレゼントにしたいから、やってみいな。」という内容を語りました。

4月からの学習経験や今までの生活経験を結び付けて、子ども達が思いを伝え合い、活動の目的を明確にしていく姿に感心しました。

春に咲くのが楽しみです。



1年4組

わくわく なかよしかい(幼保小交流)

園児に、「学校ってわくわくして楽しい！」「お兄さん・お姉さんがいてよかった！なかよしになれた！」という気持ちになってもらうためにアイデアを出しながら計画を立てました。子どもたちは近隣の公園でドングリをたくさん拾っていたこともあり、園児にもドングリで遊んでほしいという気持ちが高まり、「あきといっしょにあそぼう」と題してグループごとに楽しむ場を用意しました。会は、大成功。次のわくわくなかよしかいは2月です。さらに園児にとって、学校っていいなと思える時間になったらと期待しています。



1年5組

きせつ(あき・ふゆ)と なかよし

朝会の校長先生の「秋見つけ」をきっかけに、5組でも秋見つけが本格的にスタートしました。学校の中だけでなくローラー公園に探検に行き、ドングリを拾ったり落ち葉を投げたり踏んだりして、秋ならではの遊びを存分に楽しみました。拾った秋のお宝でお店屋さんを開き、「1年5組ドングリゲームセンター」をやりました。授業参観で保護者の方やわくわくなかよし会で年長さんに遊んでもらい、達成感を味わいました。

今度は「冬みつけをやろう」と、通学路を歩いているときに見つけた霜柱や氷のこと、生活の中で「もう冬だなあ…」と感じることをみんなで見つけて、伝え合っています。